

令和4年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：シロイチモジヨトウ（野菜）

令和4年8月12日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

- (1) 8月第1半旬現在、フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺数は、米子市でやや多く、北栄町で平年並である。また、フェロモントラップの誘殺ピークは8月下旬～9月上旬と予想される。
- (2) 8月12日現在、県西部現地ネギほ場での被害状況は平年並である。
- (3) 誘殺数が増えているので、今後、次世代の産卵数および食害被害が増加することが懸念される。

【野菜ほ場（ネギ）におけるフェロモントラップ調査】

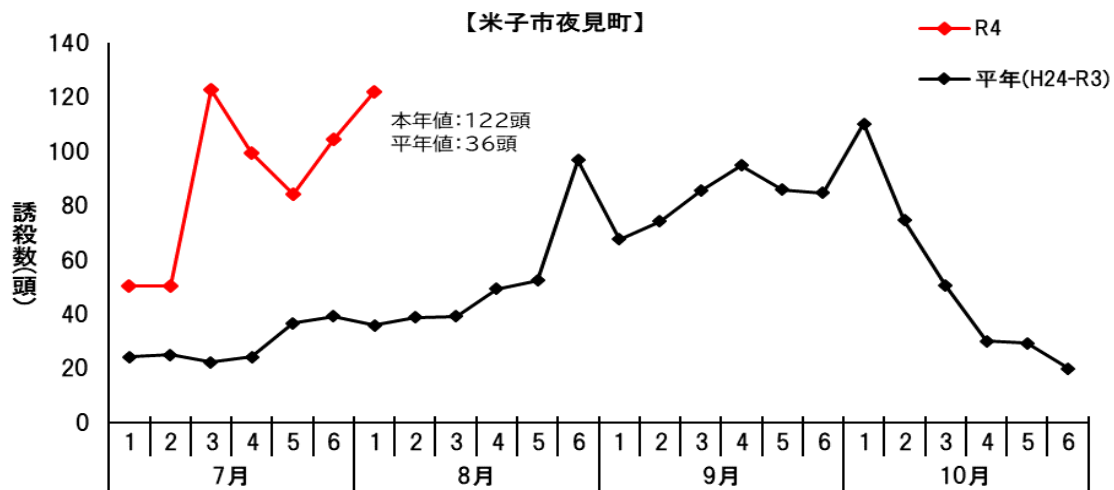


図1 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺数（調査地点：米子市夜見町）

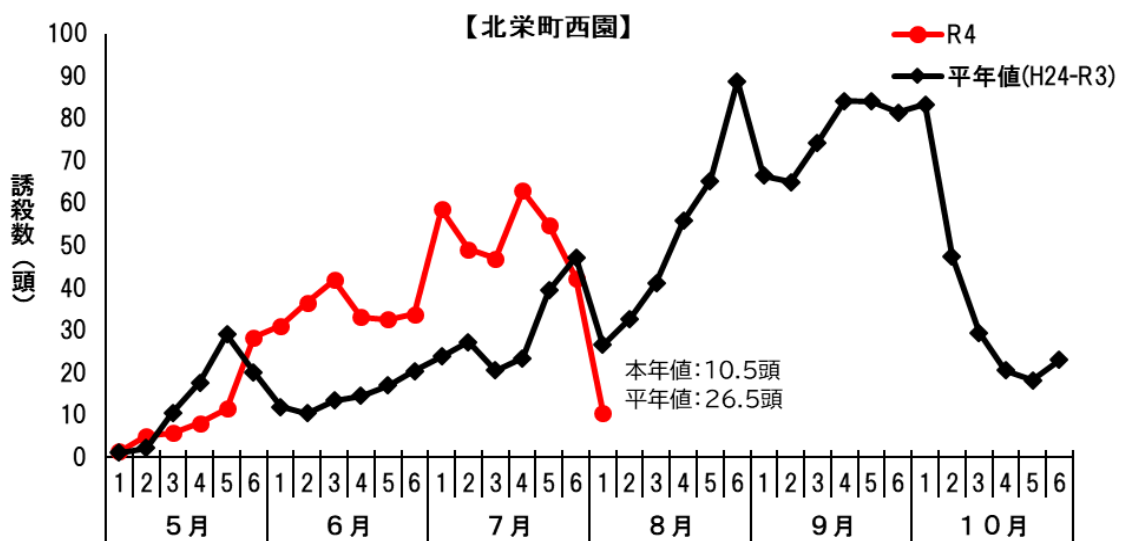


図2 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺数（調査地点：北栄町西園（殺虫剤無散布））

2 防除上注意すべき事項

(1) 野菜

ア 薬剤の感受性が高い若齢幼虫期（体長 1 cm 以下）に防除を行う。食害痕が見られ始める頃が防除適期である。

イ 食害痕は不整形の白斑となり、更にかすり状に透けて見える。はじめ卵塊から孵化した幼虫は集団で産卵場所やその周辺にとどまり、葉の表皮を残して葉肉部を食害する。ほ場内を観察し、食害痕が目立つ株に注意する。

ウ 食害痕および若齢幼虫の発生が見られた場合には、病害虫防除指針等を参照し、薬剤防除を行う。



出典：菜園の害虫と被害写真集

図1 シロイチモジヨトウ成虫



出典：菜園の害虫と被害写真集

図2 シロイチモジヨトウ幼虫（老齢）



出典：菜園の害虫と被害写真集

図3 シロイチモジヨトウ卵塊（左）と若齢幼虫（右）